

奨励賞

大企業区分

## 大和リース株式会社

※事業者の情報は応募時点(2018年)

所在地	大阪市中央区農人橋2丁目1番36号 ピップビル4階
業種	建設業
社員数	2,326名(単体)
受賞歴	2017 優秀賞
ウェブサイト	<a href="http://daiwalease.co.jp">http://daiwalease.co.jp</a>

### 環境教育(家族共)で環境意識高揚とSDGsで未来戦略構築

#### 取組の目的

当社 経営理念:『事業を通じて人を育て 企業を通じて社会に貢献する』

環境理念:『リースを通じて社会に貢献する』です

★SDGs17項目は《あらゆる人々に優しく接することの出来る人物を育成し優しい社会構築のために》と言い換えても良いのではないのでしょうか。その為に魅力のある環境教育を通じ、自然に対し優しく接することの出来る気持の優しい社員を育成します。★

#### 《環境教育について》

- ① 経営者が環境教育を自ら実践することで、社内での環境取り組みの機運を高め、SDGsに通じる未来戦略を策定し、事業や社会・世界への貢献活動に繋がります。

#### 《3Rを事業で実践》

- ② 当社は仮設校舎・仮設庁舎・応急仮設住宅等々 業務そのものが 3R を行っている『リースを通じて社会に貢献している』会社です。国の借金が 1,000 兆円越える中で、リース部材を大事に 3R しながら 幾度も再利用していることが環境負荷の低減に繋がっています。西日本豪雨災害では応急仮設住宅《107 戸》 北海道東部胆振地震では応急仮設住宅《71 戸 + 特別養護老人ホーム 72 床》を施工し、仮設校舎施工《437 坪》が本年の実績です。

#### 《環境緑化事業設立》

- ③ 環境緑化事業部を設立(2010年)し、壁面・屋上緑化でも環境分野にも進出しました。昨年売上約 4,813 百万円で費用対効果を鑑みると 余り効率の良い事業とはいえませんが、環境に貢献していることが社員の誇りになり企業価値の向上にもつながり、業界シェアNO1 目指しています。

#### 《SDGsで未来戦略を》

- ④ 当社は来年6月に創立60周年を迎え大和ハウスグループ内の6次中期経営計画が始まります。我々はSDGsを一緒に大和リースの経営計画(未来戦略)を立てていきます。今後の当社の未来戦略の一端と捉え、今までは「リースを通じて社会に貢献する」でしたが、今後

## 「環境 人づくり企業大賞 2018」受賞企業の取組事例

は「SDGsを通じて世界に貢献する」の考え方でSDGsによる経営計画を策定し、経営戦略とSDGsの統合を進めていきます。

### 《社会貢献活動》

- ⑤ 社会貢献活動では、当社社員の貢献活動と当社が運営する154箇所(2018.9.1現在)商業施設の内、現在《7箇所》でNPO法人『まちづくりスポット』に場所を無償で提供し、彼らと連携した貢献活動を行うことで、地域との連携が次の事業に繋がります。

また、現代社会の課題を自らの問題として捉え、身近なところから取り組むことにより、それらの課題の解決につながる新たな価値観や行動を生み出すことにより、持続可能な社会を創造していくことを目指します。

## 取組の実績

### A.環境教育の実施(社員・家族及び社外)(2017年10月1日～2018年9月30日)

#### 《社員》

- ①『環境講演会』(年1回実施、対象:全社員)全国68事業所テレビ会議システム使用

2018年6月1日 石坂産業株式会社 代表取締役 石坂典子様「絶体絶命でも世界一愛される会社に変える」



環境講演会 当日の様子

- ②『環境学習会』(年1回実施、対象:全社員)全国68事業所テレビ会議システム使用

2018年5月15日 ZEB、環境目標書の変更点、法的要求事項の変更点、土壌・建設リサイクル法・廃棄物管理等

- ③『廃棄物研修会』(対象:全事業所(工事責任者・管理責任者・工事事務担当者)・デポ・工場(環境責任者・環境推進者)全国テレビ会議システム使用

2017年10月27日、12月11日、12月14日、2018年2月16日 マニフェスト運用説明会、廃棄物処理法の解説、最終処分地現地確認ポイント解説

- ④『建設リサイクル法学習会』(対象:全事業所(営業・管理・工事部門)

2018年9月18日 建設リサイクル法のフローの周知、不具合の改善

- ⑤『環境ニュースの配信』(月1回配信、イントラネットに掲載)

## 「環境 人づくり企業大賞 2018」受賞企業の取組事例

新着環境ニュース、事業所の環境保全活動の紹介等

### ⑥『eco 検定取得の推進』

【目標:90%取得 2018.9.1 現在 取得者 2,059 名/2,321 名 取得率 88.7%】

- ・免許取得祝金(eco 検定 1 万円)
- ・「eco 検定」合格者数ランキングに掲載(eco 検定公式サイト最高 2 位)

#### 《家族及び社外》

①『子ども参観日にて、環境学習会を実施』全国テレビ会議システム使用【参加者 416 名】

2018 年 8 月 3 日(金)

②『環境夏休み子ども向け宿題』(年 1 回、夏休み期間)

## B. SDGs による未来戦略の策定 (2017 年 10 月 1 日~2018 年 9 月 30 日)

①『新みらい塾』(年 1 回実施、対象:勤続 3 年以上 34 歳以下の職員から公募)【参加者 45 名】

2018 年 7 月 19 日 ボトムアップ経営、大和リースの SDGs 活用 (ピーターD.ピーターセン)

②『経営層 SDGs の取組み』(対象:取締役会参加者)

各部署横断的に SDGs 推進室を設置し、当社 SDGs 戦略を策定中(来年創立 60 周年に発信予定)

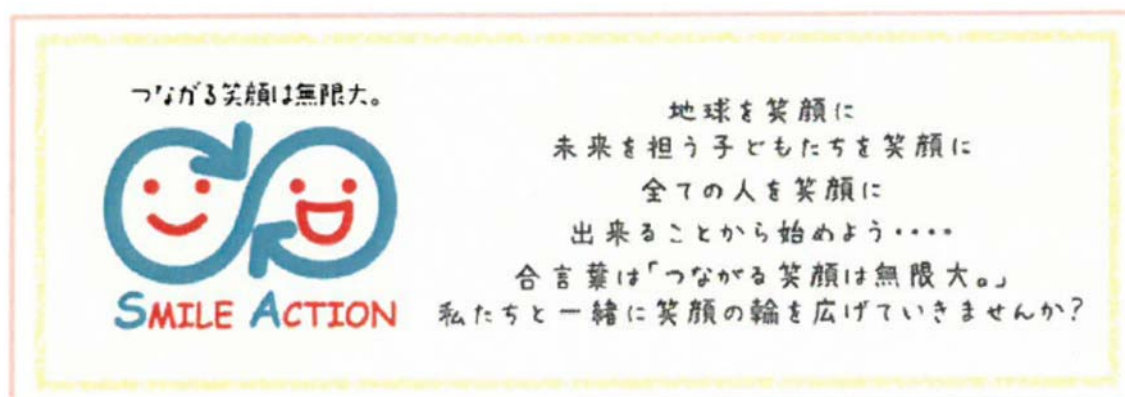
## C. 社会貢献活動の促進

### 《社員》

管理部門は、「社会貢献活動の推進(被災地支援、教育支援、社会福祉、環境保全、国際貢献)」を掲げています。「半期に 1 回以上の実施」の事業所活動と併せ、個人活動も積極的に取り組み、社員が閲覧できるイントラネット掲示板に各自活動内容を報告し、閲覧者は『いいね』を押し、コメントを入れることができ、各事業所が互いに切磋琢磨、競い合うように活動を実施しています。

### 《ステークホルダー》

① 当社が運営する商業施設にて、入居するテナント様とお客様が一体となって、施設を通じて提案できる社会貢献地域貢献活動『スマイルアクション』を実施しています。



② 当社は、環境に配慮した安全で安心な地域づくりを目指すため、当社商業施設内に無償で場所を提供し、2012 年から全国《7 カ所》で NPO 法人『まちづくりスポット』を展開しています。地元 NPO と協働で中間支援組織の NPO を設立、地域コミュニティの交流拠点を運営

することで、地元住民自らが行う地域活動の支援を行っています。

## 成果・課題

### A.環境教育の実施(社員・家族及び社外)

- ① 子供参観日では、子供らと一緒に勉強することで、お父さんお母さん(社員)の意識に変化が現れ、今まで以上に興味を持って環境問題に対し積極的に参加するようになりました。子供たちの夏休み自由研究にもなりました。
- ② また、eco 検定では公式サイトで≪2,059 名≫と全国≪4 位≫になりましたが、絶対社員数が少ないため、今後も取得率 90%(残 30 名)を目指します。
- ③ 環境講演会では石坂産業 石坂社長に講演して頂きました。親の産廃会社が地域から四面楚歌にあい、そこから地域に愛される会社になる苦労された話を聞き、企業として有り方を改めて考える機会となりました。自然を愛する気持ちを持つことで、優しさを養われ、その優しい気持ちは、自然と周りの人にも伝わります。その優しい気持ちの人を増やす為に環境教育は役立ちます。今後とも大和リースでは下記の教育を地道に継続します。

#### 《具体的実施内容》

##### 《社員》

#### ①『環境講演会』 参加者: ≪1,548 名≫

絶体絶命の危機的状況から、先進的な環境配慮型企業に変革させ、愛される会社へと成長させた取り組み内容などを講演いただき、社員一人ひとりが環境意識を向上させる機会となりました。

#### ②『環境学習会の実施』 参加者: ≪1,840 名≫

環境新語・環境の最新動向の勉強会を実施し当社の環境目標を共有し、環境活動・環境経営の取り組みが活性化されました。

#### ③④『部門別研修会の実施』

##### a.廃棄物研修 1 回 参加者: ≪322 名≫

法令遵守の徹底および排出事業者としてのリスク管理強化を図り、法違反の怖さを全員に周知しました。

##### b.建設リサイクル法研修 1 回 参加者: ≪170 名≫

リサイクル法契約書面、届出書、再資源化報告書の記載内容を研修し、リサイクル率 100%目指します。

#### ⑤『環境ニュースの配信』

環境目標進捗確認、最新の環境法令を認識する。各事業所実施の環境保全活動を掲載し、今後実施する環境保全活動の参考とします。

#### ⑥『eco 検定取得の推進』

第 24 回(平成 30 年 7 月) ≪取得者: 2,059 名 取得率: 89%≫

##### 《家族及び社外》

#### ①『子ども参観日にて、環境学習会を実施』

## 「環境 人づくり企業大賞 2018」受賞企業の取組事例

参加者: 幼児から小学生までの子ども<<416 名>> テレビ会議を<<31 ヶ所(39 事業所)>>で同時中継

### ②『環境夏休み子ども向け宿題』(年 1 回、夏休み期間)

参加者:<<85 名(社内 69 名 協力業者 16 名)>>

## B. SDGs による未来戦略の策定(来年創立 60 周年 SDGs 未来戦略 発信予定)

---

### ① 新みらい塾

ボトムアップ経営として、若手社員を選抜し、当社として起こせる「SDGs イノベーション」をチームで発表し、出席者全員でベスト 3 の選定を行いました。

### ②『経営層 SDGs の取組み』

来年創立 60 周年を迎え、未来戦略を立て、みらい塾で選定された SDGs を組み入れ、来年発信を行います。

## C. 社会貢献活動の促進

---

### <<社員>>

2017 年度<<460 件>>の活動を実施しました。

一人一人主体性を持って活動することにより、各事業所において環境に関する認定及び表彰をうけています。

現在、『11 事業所 16 認定もしくは表彰』を受けています。

### <<ステークホルダー>>

- ① 『スマイルアクション』は、2017 年度<<3,458 回>>の活動を実施しました。
- ② NPO 法人『まちづくりスポット』来館者数は、2017 年度<<87,645 名>>、利用登録団体数 349 団体。地域住民と NPO、企業が協働し、少子高齢化や過疎化、無縁社会化など、社会をとりまくさまざまな課題の解決と地域コミュニティの活性化、にぎわいの創出に貢献しています。

## D. 環境配慮製品の開発

---

上記の教育を実施し、下記の環境配慮製品の開発及び取扱いが可能となりました。

- ①「ダイワステップ ZEB」ZEB 対応商品の開発
- ②避難所用簡易間仕切りシステムの供給
- ③「移動現場事務所」新型モデル販売
- ④簡易設置型授乳室「mamaro」の取扱い開始
- ⑤作業員向け熱中症予防システムの実証実験開始
- ⑥自社が運営する商業施設に、シェアサイクルサービスを導入
- ⑦商業施設でのシェアゲート導入

## 今後の改善

今後の企業の環境の取組みとして、経営の中に積極的に環境の視点を取り入れ、新たな企業価値を創出していくことが求められています。当社は、来年創立 60 周年を迎え、SDGs の未来戦略を発表する予定です。それは、優しい人づくりとともに、大和リースの持っている 3R やリースのポテンシャルを SDGs に組み入れ、持続可能な社会構築の一助となるように進めていきます。

また、2018 年 8 月 7 日、大和ハウスグループは環境省より「エコファースト企業」の認定を受け、環境負荷ゼロに向けた 5 つの約束を掲げています。その中で、脱炭素社会の実現に向け、SBT、RE100、EP100 に参画しています。当社では、RE100 については、すでに自家消費分の電力使用量を上回る再エネ発電(売電含む)を建設・稼働しています。2030 年度以降、順次、自家消費に切り替え、2040 年にはすべての使用電力を再エネで賄うことを目指します。当社もグループの一員として、従業員のみならずサプライチェーン・協力会社とともにこの約束を共通認識として実践し、効果の定量的な把握とともに環境省への報告、社会へ積極的な情報提供をしていきます。

## 審査委員会からの講評

2019 年 6 月の創立 60 周年を前に、「SDGs を通じて世界に貢献する」という考え方で経営計画を策定することとし、各部署横断で SDGs 推進室を設置し、SDGs 戦略を策定し、創立 60 周年に発信する予定である。この未来戦略を担う人材を育成するため、さまざまな研修が行われている。特に、eco検定には力を入れ、社員の約 90%にあたる 2,059 名が取得している。

また、家族に対しても、同社の全国テレビ会議システムを使って「子ども参観日」を実施し(416 名参加)、社員の意識改革にもつながっている。さらに、同社が運営する商業施設でテナントやその顧客が一体となって地域貢献活動を行う「スマイルアクション」や地元 NPO と協働で中間支援型の NPO を設立し、商業施設内の場所を無償で提供することによって地域コミュニティの交流拠点を運営する「まちづくりスポット」(全国 7 か所)の取組はユニークである。